



編集・発行／茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 ☎0296-77-1121

ホームページ <http://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/>

2016年 夏号 Vol.23

ほっとタイムズ

病院長メッセージ「がん相談支援センターのご案内」

ドクター紹介

呼吸器内科 橋本 幾太
呼吸器内科 山口昭三郎

各科各部紹介

第9回 緩和ケアセンター

トピックス

キッズくらぶインホスピタルレポート
七夕まつりが行われました！
看護週間



平成28年7月30日開催「キッズくらぶインホスピタル'16」の様子

病気を知ろうQ&A

大人も注意！
～子供の夏かぜ、正しい理解～

■ 病院長メッセージ

ー第6回ー

「がん相談支援センターのご案内」

茨城県立中央病院
茨城県地域がんセンター
病院長 吉川 裕之



がん相談支援センターのホームページを7月に改訂いたしました。がん相談のほか院外ボランティア、関係機関の協力を得て、ピアサポート、がん患者サロン、就労支援相談などの取り組みを行っております。ご利用される場合の費用は無料です。患者さまご本人、ご家族の方など、ぜひご利用下さい。

「がん相談」では看護師や医療ソーシャルワーカーが医療相談、症状や副作用、医療費、訪問介護など、がんに関する様々な相談をお受けしております。相談内容やプライバシーに関する秘密は厳守いたしますので、がんに関する不安や悩みをお気軽にご相談下さい。相談をご希望の場合は本センター（医療相談支援室）へ直接おいでいただくか、担当の医師、看護師へお申し出下さい。事前の予約も可能です。お電話での相談もお受けしております。

「がんピア（仲間）サポートかさま」はがん体験者が自らの体験を通して、がん患者さまやそのご家族が抱える不安や悩みを軽減、解消するた

めのお手伝いをします。相談内容はがんに関することとなります。医療相談ではありませんので、セカンドオピニオンサービスや医師、病院などの紹介は行っておりません。相談をご希望の場合は事前にご予約下さい。相談予約の状況によっては、事前予約なしでお受けできる場合もあるので、お問合せ下さい。

がん患者サロン「友部やまびこの会」は、がん患者さまやそのご家族など、同じ立場の人たちが集まり、情報交換や交流を図るための会です。がん体験者、ご家族、支援者の方々も参加できます。ご予約は不要ですので、直接会場へお越し下さい。

「がん患者就労相談」では社会保険労務士が、がん患者さまの就労に関するご相談をお受けします。がん患者さまが治療をしながら、仕事や日常生活を続けていけるよう、就労に関する解決策を考えていきます。相談をご希望の方は事前にお電話でご予約下さい。

～がん相談支援センター各種相談窓口のお申し込み・お問合せ先～

	場 所	時 間	お申込み・お問合せ
がん相談	がん相談支援センター (医療相談支援室)	平日のみ 9:00～16:00	がん相談支援センター 0296-78-5420
がんピアサポートかさま	茨城県立中央病院 1階外来診察室	毎月第2・4金曜日 13:00～15:30	
がん患者サロン 友部やまびこの会	茨城県立中央病院内 災害医療センター	毎月第1月曜日 13:00～15:00	
がん患者就労相談	がん相談支援センター (医療相談支援室)	毎月第4水曜日 13:00～16:00	

病気を知ろう

Q&A

大人も注意!

～子供の夏かぜ、正しい理解～

Q：夏かぜとはどんな病気ですか。

A：毎年夏場に流行しやすい、エンテロウイルスと言うウイルスに感染した際に起こる病気の総称です。エンテロウイルスは1種類だけではなく、90種類以上の血清型が知られています。毎年その中の数種類が流行します。



Q：夏かぜの症状を教えてください。

A：エンテロウイルスの種類により症状も様々です。多くみられる症状としては発熱や鼻水、咳、下痢があります。また口内炎が出来たり手足に水疱が出来たりすることもあります。特有の症状が揃った時、『手足口病』や『ヘルパンギーナ』と言った病名がつきますが、これらも夏かぜの一種です。

Q：夏かぜにかかった場合、治療はどうするのですか。

A：他の多くのウイルス疾患と同様に、特別な治療薬はありません。症状に応じた対応のみとなります。ほとんどの場合は軽症ですが、稀に心筋炎や脳炎といった重篤な状態になることがありますので、出来るだけかからないよう予防に努めることが大切です。

Q：予防はどうすれば良いですか。

A：残念ながら現在のところワクチンはありません。他の多くのウイルス疾患と同様に咳エチケット、手洗いの徹底が感染予防として大切です。エンテロウイルスは腸管内に多くいますので、特にトイレ後の手洗いやおむつの管理が重要です。また体調を整えておく為に、早寝・早起きを心がけることも大切です。

Q：大人が夏かぜにかかることはありますか。

A：大人の場合、過去にかかった種類のエンテロウイルスに対しては免疫を持っていますから、子供に比べればかかりにくいと言えます。でも、まだかかっていない種類が流行すれば大人でもかかってしまいます。大人も予防を心がけて下さい。

Q：夏かぜにかかったら、学校や幼稚園等はいつまで休まないといけませんか。

A：発熱がなく（解熱後1日以上経過し）、普段の食事ができれば登園・登校可能です。手足口病やヘルパンギーナと診断されていても同様です。実は症状回復後もウイルスは長期にわたり排泄が続きます（呼吸器から1～2週間、糞便から2～4週間）。よって流行の阻止を狙っての登園・登校停止は現実的ではないのです。子供も大人も普段から感染の予防に心がけることが大事なのです。



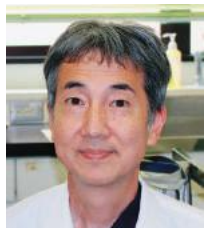
小児科部長
稲川 直浩 先生
が答えました



ひと言

大人でも寝不足は体に良く無いものですが、成長期の子どもたちにとって夜の睡眠時間の確保は特に重要です。早寝早起きに心がけて健康な日常をお過ごし下さい。

ドクター紹介



呼吸器内科 部長
橋本 幾太

呼吸器内科に2005年から赴任しております。この10年間で、スタッフも建物、機器、治療法もずいぶん増えました。残念ながら私の体力は年相応に低下しており、せめて気力でカバーしたいと思っています。当科で担当している肺癌の治療も進歩しておりますが、がんセンターとして集学的に手術、放射線、抗がん剤、緩和などの治療を行っておりますが、未だに完治できる方が多くはないのも現状です。早期発見が治癒につながりますので、毎年の検診やドックを受診していただいたり、そもそも病気にならないために禁煙や、健康的な生活を心がけていただければと思います。



呼吸器内科 部長
山口昭三郎

呼吸器内科の山口昭三郎と申します。当院には2009年に赴任し、早7年がたちました。

呼吸器の病気には、肺炎や結核などの感染症、気管支喘息や慢性閉塞性肺疾患（いわゆる肺気腫）といった気道系疾患、肺癌や悪性胸膜中皮腫といった腫瘍性疾患、気胸や間質性肺疾患、膠原病やサルコイドーシス、再発性多発軟骨炎などの全身性疾患の部分症状としての肺疾患等々、多岐にわたります。なかなかままならない世の中ですが、できるだけ幅広い疾患に対応していけるよう今後も努めていきたいと思っています。

各科各部紹介 第9回 緩和ケアセンター

- *緩和ケアセンター長：大谷がんセンター長
- *GM：鯉沼とも子（がん性疼痛看護認定看護）
- *専従看護師：坂本聖子（緩和ケア認定看護師）
：前田睦美（緩和ケア認定看護師）



都道府県がん拠点病院として、2015年9月に緩和ケアセンターが設置されました。11月から苦痛のスクリーニングを実施し、患者様の気持ちや体の辛さについてのお話を伺い、症状緩和に取り組んでいます。また外来において、告知後のサポートや、治療方針・療養の場の意思決定支援など、患者・家族の思いや日常生活等に沿った選択ができるよう患者支援に取り組んでいます。

また、地域との連携強化と在宅移行への支援として、訪問看護師との同行訪問や、カンファレンス参加など、在宅移行がスムーズになるよう取り組みを始めました。

患者様が望む療養環境の下で、苦痛がなく療養生活が送れるよう、緩和ケアセンターが一丸となって患者支援していきたいと考えています。



キッズくらぶインホスピタル'16が開催されました (平成28年7月30日)

医療現場を疑似体験し、少しでも医療に興味を持ってもらえたら、そんな願いを込めて、キッズくらぶインホスピタル'16に今年もたくさん子どもたちが参加してくれました。AED(自動体外式除細動機)を使った心肺蘇生法を学んだり、白衣姿で研修医の先生たちを相手に診察をしたり、またエコーや注射器、電気メス、手術ロボット等本物の器具を使っでの体験に子供たちは真剣なまなざしで取り組んでいました。子どもたちの「楽しかったあ」と輝くような笑顔に研修医をはじめとするスタッフたちも嬉しそうでした。毎年夏に開催するこのイベントは子どもたちが医療に関心を持ち医師や看護師などの医療職を目指すきっかけになっています。



参加者の声

小学生

- 手術体験で電気メスを使って鶏肉の中のグミを探すのが楽しかった。
- 縫合体験が面白かった。僕も大人になったら医者になりたい。○たくさんのお医者さんがみんなの病気を治すために頑張っているんだと思った。

保護者

- 先生方が一生懸命子供達に教えて下さる姿が、印象的でした。○実際の医療現場での体験は子供達にとって、とても貴重な経験になりました。

七夕まつりが行われました!

7月5日PCU(緩和ケア病棟)でボランティアさんの協力のもと、七夕まつりが行われました。

いつもの見慣れたユニフォーム姿とは違い、美しい浴衣姿のスタッフに患者様からも思わず笑みがこぼれます。

緩和ケア病棟の三橋先生と一緒に「七夕」や「椰子の実」などの歌を歌ったり、色とりどりの短冊を眺めながら、綿あめやかき氷を食べたりと季節の行事を楽しみました。



看護週間

5月24日～30日の平日5日間、1階外来ホールにて「看護師による個別相談会」を開催しました。時間は1日1時間でしたが、合計35名の方に来ていただきました。相談内容は、現在抱えている病気のこと、検査のこと、生活のことなど様々でした。

看護師が、おひとり、おひとりの悩みや不安をじっくりとお聞きしたことで、皆様から「安心した」と言ってもらえ、とてもうれしく思いました。来年の看護週間でも開催を予定しておりますので、皆様どうぞお越し下さい。



紹介状をご持参されない患者様の初診時選定療養費について

当院では、他の病院または診療所等からの紹介状をご持参されない初診患者様について、初診時選定療養費として、3,240円（税込）をご負担いただいておりますが、平成28年6月1日から下記の金額へ変更いたしました。

初診時選定療養費

平成28年6月 1日から **4,320円（税込）**

※救急車搬送による重症患者様・公費負担医療の患者様・15歳未満マル福をお持ちの小児科の患者様・産科受診の患者様等は除かれます。詳しくは、受付窓口でご相談下さい。

ご意見箱から

- 電話コーナーに椅子があると助かります。立って電話するのが辛いときがありますので、宜しくお願いします。
- 電話コーナーに椅子がなく、ご不便をおかけし申し訳ございませんでした。早速、電話コーナーの前に椅子を設置いたしました。貴重なご意見ありがとうございました。（患者様相談室）
- いつもおいしい食事、ご馳走様です。献立に温泉卵（治）とかほうれん草ソテー（常○）等書かれていますが、どういう意味なのでしょう？
- 献立表の（ ）には調理作業工程上確実性を期すために用いられている記号です。例えば（治）の場合は、治療食を意味しており、（常）は常食と全く同じ料理であることを表しております。（栄養科）
- 駐車場は一方通行になっているが、逆走している人は逆走していることすら解っていないのでは。逆走防止の検討をお願いします。
- 駐車場の件でご心配をおかけして申し訳ありませんでした。現状、当院の駐車場は入口から出口にかけ、一方通行となっております。ご指摘の逆走防止の為、今後看板増設や警備員による巡回強化を実施し、逆走防止に努めて参ります。貴重なご意見ありがとうございました。（施設課）

非常勤職員の募集

- | | |
|---------------------------------------|--|
| ・職 種 治験コーディネーター（CRC業務） | ・職 種 医療事務（医師事務作業補助者） |
| ・募集人員 1名 | ・募集人員 2名程度 |
| ・雇用期間 採用から平成29年3月31日
契約更新有り（条件有り） | ・雇用期間 採用から平成29年3月31日
契約更新有り（条件有り） |
| ・資 格 看護師、薬剤師等
（治験業務経験者は資格不問） | ・業務内容 医師の指示に基づく診察や検査等の
代理入力、診断書・診療記録及び処
方せん等の文書作成補助など。 |
| ・賃 金 資格、経験により異なる。
他に賞与有り（院内保育所利用可） | ・必要経験 医療事務の経験等があることが望ま
しいが、未経験者でも可能 |
| ・勤務時間 原則8:30～15:30（週29時間勤務） | ・賃 金 時給1,155円、他に賞与有り
（院内保育所利用可） |
| | ・勤務時間 原則8:30～15:30（週29時間勤務） |

多くの女性スタッフが活躍中！
仕事と家庭の両立もサポート。

ご連絡先：事務局総務課 金子

☎0296-77-1121（内線2024）

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 ☎0296-77-1121 ホームページ <http://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/>